

まちの できごと

おおとよ町の
できごと。

豊永少年剣道部部員募集！

豊永少年剣道部では、現在部員を募集しています！
練習日：毎週火曜日・金曜日 午後7時～9時
練習場所：大杉小学校体育館

問い合わせ先：080-3920-2913（上村）
私たちと一緒に、剣道をはじめませんか！

第40回大豊町スポーツ大会剣道の部の結果(4チーム約50人参加)

高学年男子の部	準優勝	西村 奨
高学年女子の部	優勝	上村みず穂
低学年女子の部	第3位	岡林 華鈴



今年のゴールデンウィーク、ゆとりすとパークは賑やかでした。

5月4日には昨年同日の2倍の入園者数となりました。
期間中は「雑貨クラフトマーケット」や「なるまの手作り教室」など、色々なイベントで会場は盛り上がりしていました。
子どもたちに人気だったのは、「射撃コーナー」（行列ができていました！）やドイツ製遊具「ポッカル」だったようです。

夏も楽しいイベントを計画しているそうなので、皆さんぜひ遊びにきてくださいね！

昨年同日の2倍の入園者数！



毎月第3日曜日はお山の手づくり市！



れいほく田舎暮らしネットワークと嶺北地域観光交流推進協議会主催で、毎月第3日曜日に「お山の手づくり市」が本山町で開催されており、おしゃれで手作りにこだわった店やおいしいお店が集結し、大豊町からも出店されています。

現在お山の手づくり市では出店者を募集しています。
ご自身で手作りされたオリジナル作品の販売に興味のある方は、こちらまでご連絡ください。

れいほく田舎暮らしネットワーク
☎0887-70-9820

田植えの季節になりました！

5月9日、大杉小学校5年生が毎年行っている田植えが行われました。

これは農業体験学習として小笠原義常さん（大王下）提供の水田「杉っ子農園」で行われており、米の品種は「ひとめぼれ」です。

この日は快晴で、最初は「気持ち悪い～」と言っていた子どもたちも、田植えをしているうちに暑くなってきたのか、「もう飛び込みたい！」と言って先生に止められていました…。



大豊町公式 facebook にも、
町のできごとが掲載されて
いますので、ご覧ください。



交通安全指導員感謝状贈呈

4月18日、「大豊町安全推進町民会議」が農工センターで行われ、浜田豊高さん（日浦）と三谷清志さん（久壽軒）が、大豊町長から感謝状を授与されました。

浜田さんは平成7年から18年間、三谷さんは平成8年から17年間、交通安全指導員として学校や保育所などで交通安全教室を行ったり街頭交通指導を行い、町の交通事故の防止や交通秩序の保持に努めてこられました。

長い間ありがとうございました！



4月25日、「災害時における広域福祉避難所の設置運営に関する協定締結式」が高知県立山田養護学校で行われました。

災害のとき災害時要援護者（知的・発達障害児者）は避難所生活に支障をきたすおそれがあるため、障がいに応じた対応ができるよう、広域的に福祉避難所を設置する必要があります。そこで、南国市、香南市、香美市、大豊町と、高知県立山田養護学校との間で協定を締結しました。

これにより、広域的支援体制の充実、さらなる取り組みの推進を図っていきます。

広域福祉避難所設置協定締結式



松浦佐用彦生誕の地記念碑除幕式



日本における考古学の先駆者、松浦佐用彦（さよひこ）の功績を語り継ぐと、大豊史談会によって、出身地の黒石公民館近くに記念碑が完成し、4月29日に大豊史談会、地元住民および遠戚に当たる方によって除幕式が行われました。

松浦佐用彦については、大豊町ではほとんど知られてはいませんが、考古学を行う人々の中では有名な人物です。

明治10年東京大学にアメリカ人の動物学者エドワード・シルウェスター・モースが着任しました。このモースが日本考古学の先駆けとなった「大森貝塚」を発見し、その発掘調査にモースの弟子として従事した人物が、東京大学の学生だった松浦佐用彦で、モースの信頼も厚く、重要な役割を果たしていたようです。しかし明治11年の夏、モースの北海道への調査に同行するはずであった佐用彦は急逝します。

明治11年7月6日モースは東京谷中の霊園に佐用彦の遺体を葬りました。翌年学友達が建立した墓碑は今も霊園の一隅に残っています。

記念碑の完成により、郷土が生んだ松浦佐用彦の名が未永く語り継がれていくものと思われます。

